

Immediate Press Release 2010.12.6

曾根 裕展 Perfect Moment SONE Yutaka : Perfect Moment

謹啓 初冬の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、東京オペラシティ アートギャラリーの展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「曾根 裕展 Perfect Moment」開催まであとわずかとなりました。

ロサンゼルス在住の作家・曾根裕は、国際的に高く評価されている作家のひとりです。その作品は、観客を巻き込んだプロジェクト型の作品、映像、彫刻、ドローイング、油彩画など、実に幅広い展開を見せてきました。近年精力的に取り組んでいるのが、中国とメキシコの工房で現地の職人と協働で制作する彫刻作品です。

「建築家になるために美術を選んだ」という曾根の姿勢は、言い換えると「アートには建築のスケールに収まることのないかたちや風景を創ることができる」という壮大な夢を追う姿なのかもしれません。曾根にとってのアートとは、人間の営みが生んだかたちであり、同時に人間にとって未知の領域を発見するための方法でもあります。木漏れ日のような利那的で儂いものや、都市の風景や観覧車など人間が生み出したものを大理石の彫刻に仕上げ、人類がまだ足を踏み入れたことのないジャングルを創り出す。このような制作の土台には、人間があらゆる制約から解放され、多様性に満ちた混沌の中に、ひとりひとりのユートピア、「パーフェクト・モーメント」を発見することへの願いが流れています。

つきましては、この「曾根 裕展 Perfect Moment」を貴誌上で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

【開催概要】

展覧会名： 曾根 裕展 Perfect Moment
 会期： 2011年1月15日[土]-3月27日[日]
 会場： 東京オペラシティ アートギャラリー
 開館時間： 11:00-19:00 (金・土は 20:00 まで/最終入場は閉館の30分前まで)
 休館日： 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、2月13日[日・全館休館日]
 入場料： 一般 1,000(800)円/大・高生 800(600)円/中・小生 600(400)円

- * 同時開催「収藏品展 036 わが山河 Part III ^{ゆきつきはな} 雪月花」、project N 44 吉田夏奈 の入場料を含みます。
- * 収藏品展入場券 200 円 (各種割引無し) もあり。
 () 内は 15 名以上の団体料金。その他、閉館の 1 時間前より半額、65 歳以上半額。土・日・祝日の中・小生無料。
- * 障害者手帳をお持ちの方および付添 1 名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。
- * 森美術館 (「小谷元彦展: 幽体の知覚」)、横浜美術館 (「高嶺格: とおくてよくみえない」) との相互割引あり。

お問合せ： 03-5353-0756 ウェブサイト URL : <http://www.operacity.jp/ag/>
 主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団
 特別協賛： ジャパンリアルエステイト投資法人
 協賛： 株式会社資生堂/有限会社グランツ
 助成： 財団法人朝日新聞文化財団
 特別協力： 新和 SHIPPING 株式会社/セラミカ・スロ
 企画協力： 遠藤水城 (ゲストキュレーター)
 協力： デイヴィッド・ツヴィルナー・ギャラリー/アート・オフィス・シオバラ

■本リリースに関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】 堀・福士 【広報担当】 吉田
 Tel : 03-5353-0756 / Fax : 03-5353-0776 / Email : ag-press@toccf.com

ARTGALLERY
TOKYO OPERA CITY

[展示構成]

Gallery 1

展示は、1995年の《ナイト・バス》と1997年の《バースデイ・パーティ》の2点のビデオ作品です。現在の制作は彫刻作品が中心となっていますが、19台の自転車（モノサイクル）をつなぎ合わせ全員が協力して動かす《19番目の彼女の足》のようなプロジェクト型の作品や、ビデオ作品が曾根の制作の中心でした。《ナイト・バス》と《バースデイ・パーティ》の2点は、曾根の初期作品の中でとくに重要なビデオ作品です。

1996年の第1回フィリップ・モリス・アート・アワードでグランプリを受賞した《ナイト・バス》は、アジアやアメリカ西海岸を走る夜行バスの車窓から見た風景が延々と続く作品です。揺れる車内から撮影した映像は、不鮮明で、夜行バスの中で誰もが体験する夢うつつの状態を思わせます。実はこの映像を撮影したのは曾根裕本人ではありません。曾根が5人の友人に手紙を書き、友人たちの行ったことのない土地（西アジア、東南アジア、ハワイ、アメリカ、日本国内）を旅して撮影してもらい、それを自宅で約15分間の映像作品に編集したもののなのです。現在の曾根が中国やメキシコの職人たちと一緒に制作を行っているように、この作品は、曾根と友人たちとのコラボレーション作品です。この作品で曾根は、一人でできることの限界や制約を超え、他者を巻き込むことで拡大する「作者」のあり方を示しています。



《ナイト・バス》ビデオ 1995年
Night Bus, 1995, Video
Courtesy: David Zwirner, New York



《ナイト・バス》ビデオ 1995年
Night Bus, 1995, Video
Courtesy: David Zwirner, New York

《バースデイ・パーティ》は、1997年にドイツで行われた「第4回ミュンスター彫刻プロジェクト」に出品され、曾根裕の名前を世界的に知らしめた作品です。この作品で、曾根はミュンスター市内で出会ったさまざまな人たちと一緒に毎日自分の誕生日を祝いました。バースデイ・ソングを歌い、ケーキのろうそくを吹き消し、その模様をビデオに収めたのです。22分に編集された作品は、ミュンスターの路面電車の駅の地下道に設置されたモニターで上映されました。プライベートな映像を公共の空間であえて公開し、個人と社会という関係を揺さぶって見せた展示でした。「ミュンスター彫刻プロジェクト」はもともと彫刻作品による国際展でしたが、曾根は、ディレクターのカスパー・ケーニッヒに、自分にとってビデオ作品は彫刻だと語ったそうです。誰もが経験するであろう、この世に生まれたことを祝う幸せな記憶、そのささやかな個人の歴史を彫刻にしたいと考えたのです。記憶や光景といった形のないものを彫刻にする。それは社会や公共に対して、新しい視点やものの見方を提示する、曾根の作品に一貫する姿勢と言えるでしょう。



《バースデイ・パーティ》ビデオ 1997年
Birthday Party, 1997, Video
Courtesy: David Zwirner, New York

Gallery 2

観葉植物などで作られたジャングルのような空間の中に、大理石の彫刻 5 点と、籐で編まれた高さ 2m 以上のバナナ・ツリーの作品 6 点が配置されます。曾根は過去にも、展示空間を大型の観葉植物でいっぱいにしてジャングルを創り出していますが、彼にとってジャングルは人工物（ホワイトキューブの美術館）と対極にある始原のイメージであり、混沌であり、前人未到の未知の世界の象徴と言えるものです。

大理石の彫刻は、石工の街として知られる中国の崇武で、現地の石工たちと協働で制作されました。今回の新作のなかで最も注目されるのは、長さ 2m65cm、幅 85cm、高さ 55cm、重さ 1.4t の《リトル・マンハッタン》（2010 年）です。この作品の制作のために、曾根は、ニューヨークのマンハッタン島の空撮写真や資料を丹念に調べて、長い制作時間をかけてビルのひとつひとつまでも丁寧に彫り出し、大理石によるこのマンハッタン島のミニチュアを制作したのです。マンハッタン島をまるごと彫刻にしてしまうという果敢な挑戦によって、白亜の大理石は圧倒的な存在感を見せています。

また、《木のあいだの光 #2》（2010 年）と題された作品は、文字どおり、木漏れ日をモチーフにしたものです。木漏れ日という、樹木や大気などの自然が見せるつかの間の光学現象を、大理石という素材をつかって永遠性をもつものとして造形化しています。大理石は古代より彫刻の素材として用いられ、時間を結晶化することのできる素材であり、《木のあいだの光 #2》は相反する二つの時間、一瞬の儚さと永遠が同時に現れる作品とも言えます。一方、曾根は半永久的に残る自然素材で、人間が作り上げた人工のビル群が立ち並ぶマンハッタン島も造形化しました。そしてそれらの彫刻作品は、美術館の中に人為的に作られたジャングルの中に置かれるのです。このように、曾根は、人工と自然というものを、単純に対比させるのではなく、複雑に絡み合ったものとして作品化することで、自然と人間のあり方についても再考を促します。前人未到の領域に挑戦する曾根ならではのユニークな展示と言えるでしょう。



《リトル・マンハッタン》制作風景
大理石 2010 年
Little Manhattan, 2010
Marble
(Work in progress)



《リトル・マンハッタン》(部分)制作風景
大理石 2010 年
Little Manhattan, 2010
Marble
(Work in progress)



《木のあいだの光 #2》制作風景
大理石 2010 年
The Light between Trees #2, 2010
Marble
(Work in progress)

[関連イベント]

●開催記念スペシャル・トーク

曾根裕、フィリップ・ピロット（クンストハレ・ベルン館長）
2006年に曾根裕の個展を開催したクンストハレ・ベルンのフィリップ・ピロット館長が来日。
公開トークをほとんどしない曾根裕と自由に語り合います。

日時：2011年1月15日（土）14:00-16:00

場所：東京オペラシティビル 7F 第一会議室

定員：80名 要予約

聴講費：無料（逐次通訳付）

※申し込み方法の詳細は決まり次第ホームページでお知らせします。http://www.operacity.jp/ag/

●キュレーター・トーク【東京アートウィーク [2011年3月26日-4月3日] 参加プログラム】

遠藤水城（本展ゲストキュレーター）

本展開催のため実際に崇武、グアダラハラのスタジオを訪れた遠藤水城氏が、さまざまなエピソードを交えて、作家の制作現場の様子をお伝えします。

日時：2011年3月26日（土）18:00-19:00

場所：東京オペラシティ アートギャラリー展示室

参加費：無料（展覧会の入場券が必要です）

※予約不要（当日の参加状況により、入場制限を行う場合があります）

[関連展覧会情報]

「雪」曾根 裕展

銀座にあるメゾンエルメスでも曾根裕の個展を開催中です。異なる2つの展覧会をご覧頂くことで理解がより深まります。

会期：2010年12月10日（金）-2011年2月28日（月）無休（但し1/1、1/2を除く）

開館時間：月-土曜 11:00-20:00（最終入場 19:30）日曜 11:00-9:00（最終入場 18:30）入場無料

会場：メゾンエルメス 8F フォーラム TEL: 03-3569-3300

[展覧会割引情報]

1. [閉館1時間前より入場料半額の「夜割」]

東京オペラシティ アートギャラリーでは連日、閉館1時間前より、入場料が半額になる「夜割」を実施しています。時間の無い方にもお勧めです。

・火-木・日曜 18:00-19:00 / 金・土曜 19:00-20:00（入場はいずれも30分前まで）

・一般¥500 大・高生¥400 中・小生¥300（他の割引との併用はできません）

2. [最先端の日本の現代美術を一度に楽しめる！「小谷元彦展」、「曾根裕展」、「高嶺格展」相互割引]

本展チケットを、以下の2つの美術館でご提示いただくと、各展覧会を200円割引料金でご覧いただけます。また下記いずれかのチケットのご提示で、「曾根裕展 Perfect Moment」を200円引きでご覧いただけます。（1枚につき1名様、各展覧会1回限り有効。他の割引との併用不可）

・森美術館 「小谷元彦展：幽体の知覚」 2010年11月27日-2011年2月27日 無休

・横浜美術館 「高嶺格：となくてよくみえない」 2011年1月21日-3月20日 木曜休

3. [ICCとの共通割引]

アートギャラリー受付で同時期に開催中のICC企画展「みえないちから」（2010年10月30日-2011年2月27日）の入場券をご提示頂くと、本展入場券が団体料金になります。またICC企画展へご入場の際に本展入場券をご提示頂いた場合も団体料金になります。[他の割引との併用不可、ご本人様1回限り有効]

NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] Tel:0120-144199